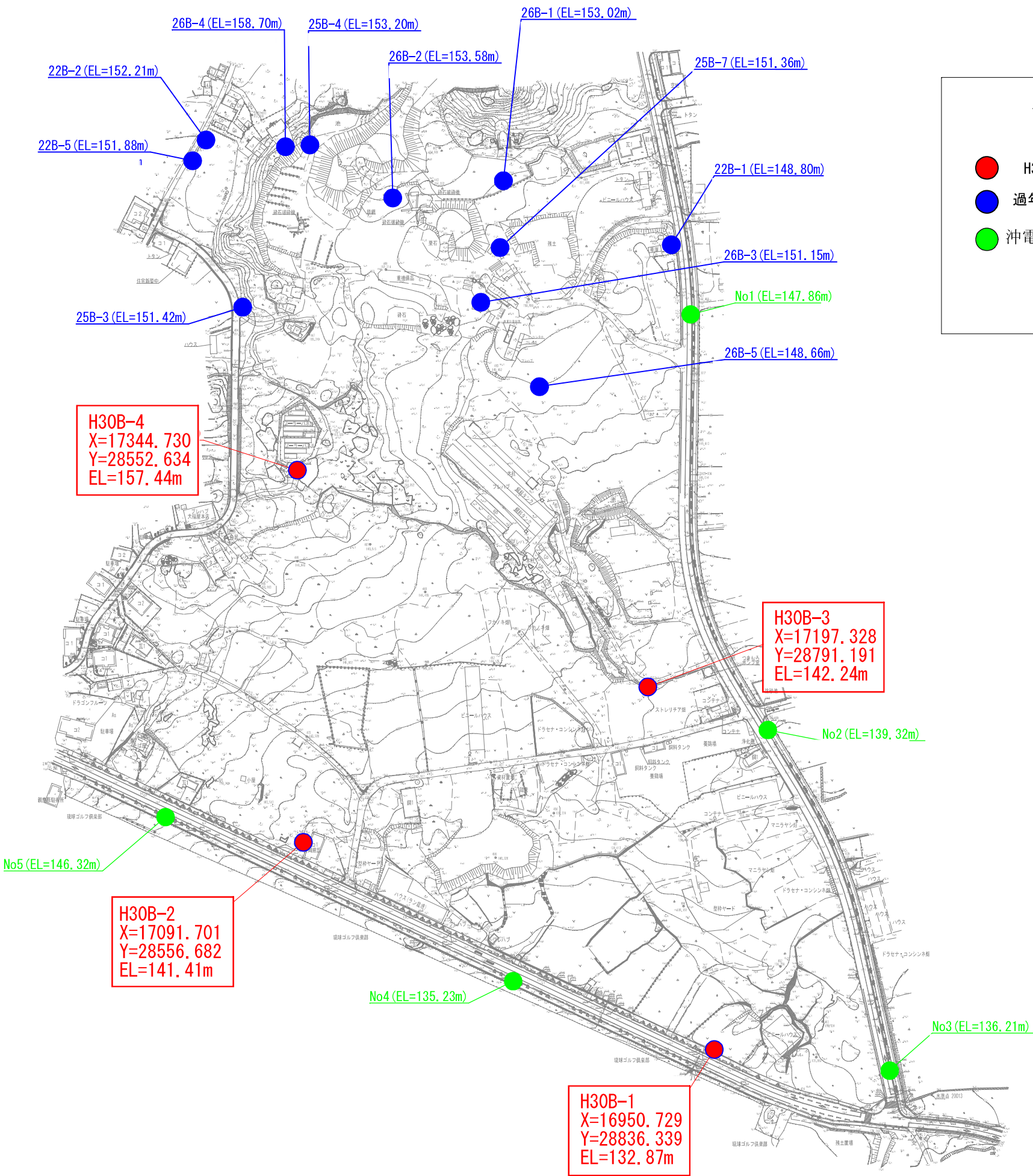


調査位置図



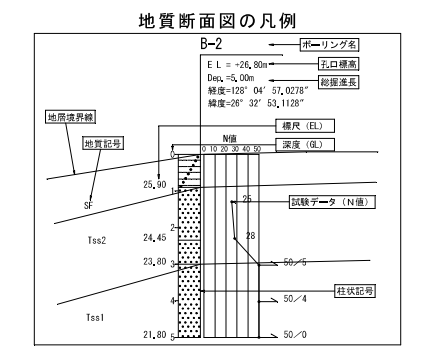
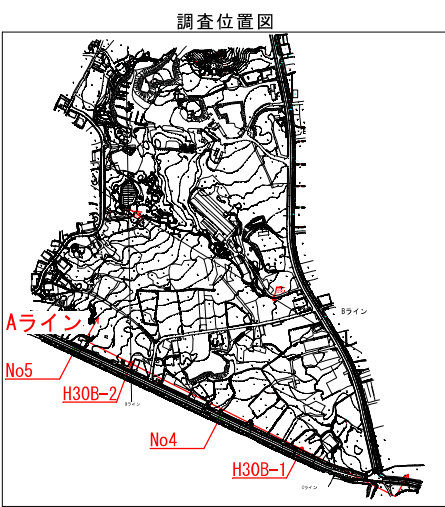
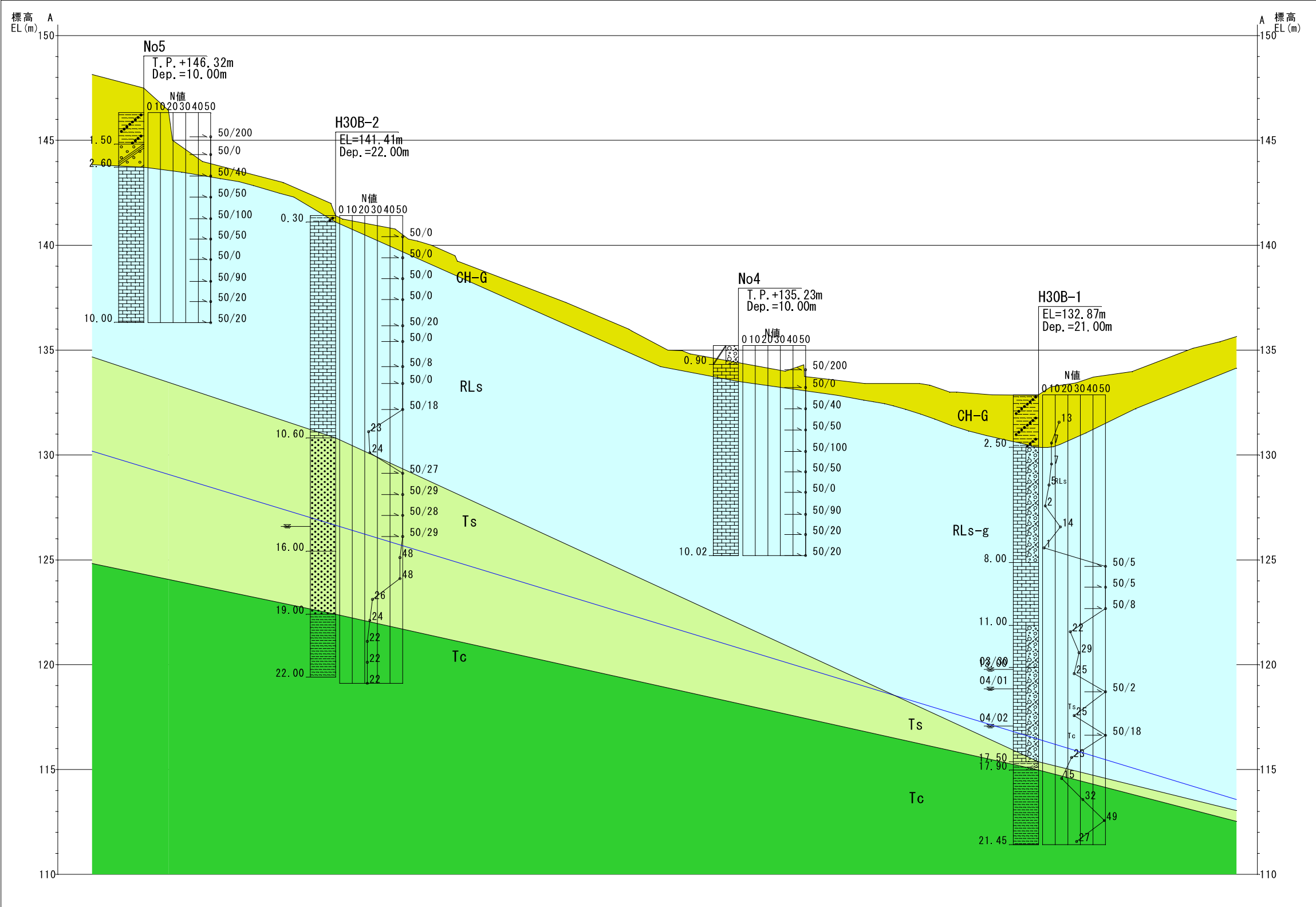
凡 例

- H30ボーリング地点
- 過年度ボーリング地点
- 沖電H31ボーリング地点

凡例	
1	バス停
2	側溝
3	L型側溝
4	側溝地下部
5	雨水樹
6	並木樹
7	道路標識 案内
8	道路標識 警告
9	道路標識 規制
10	番号灯
11	カーブミラー
12	建物 鉄筋コンクリート
13	建物 瓦屋根
14	建物 鋼板屋根
15	マンホール 電話
16	電話柱
17	電力柱
18	マンホール 汚水
19	マンホール 仕切弁
20	マンホール 排水弁
21	マンホール 空気弁
22	マンホール 制水弁
23	マンホール 分岐弁
24	広葉樹
25	針葉樹
26	井戸
27	タンク
28	照明灯
29	人工斜面・土堤
30	コンクリート被覆
31	さく
32	鉄さく
33	生垣
34	花壇
35	草地
36	畑
37	さとうきび畑
38	果樹園
39	牧草地
40	芝地
41	広葉樹林
42	荒地
43	やし樹林
44	岩がけ
45	露岩
46	散岩
47	水準点
48	多角点
49	公共基準点(多角点)
50	未舗装(砂利)
51	アスファルト舗装
52	コンクリート
53	直コンクリート
54	石積
55	ブロック
56	消火栓
57	支柱

業 務 名	南城市先導的都市拠点地域まちづくり事業調査業務 (つきしろIC周辺地区)		
図 面 名	調査位置図		
年 月 日	令和元年6月		
尺 度	1 : 1,500	図面番号	1 葉之内 1
会 社 名	株式会社オオバ 沖縄支店		
事 務 所 名			

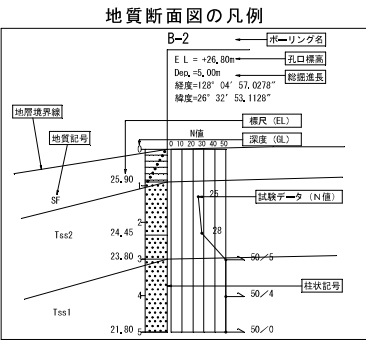
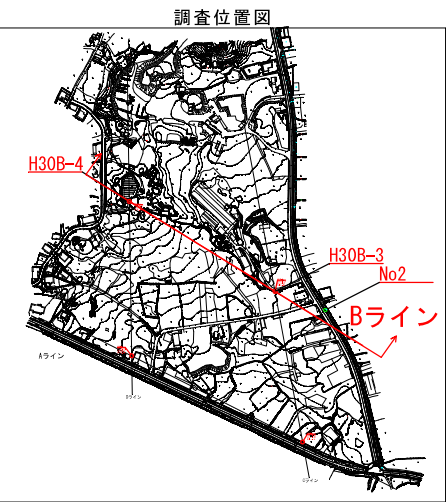
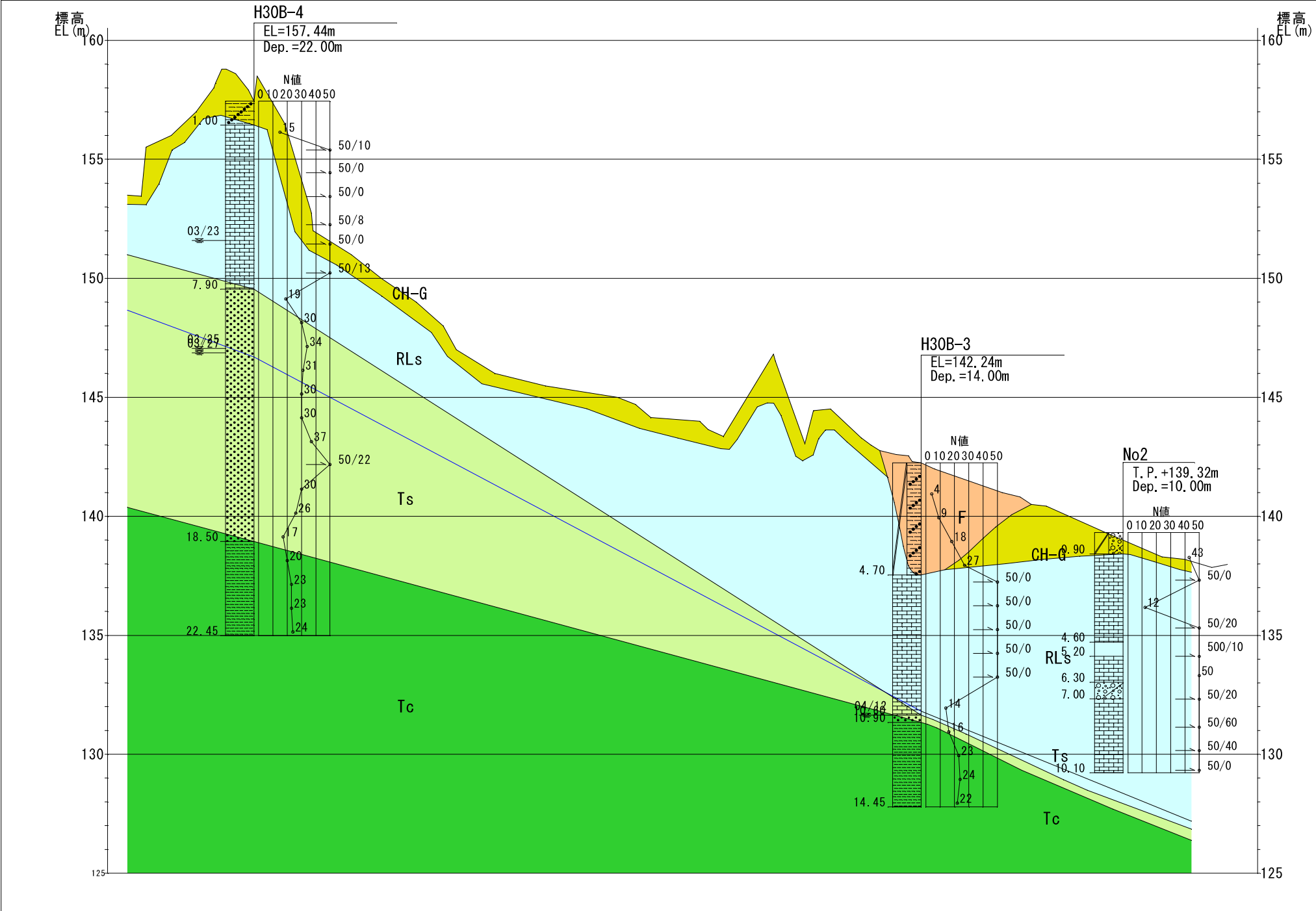
推定地質断面図 [Aライン]



地層区分凡例			
地質時代	地質名	記号	土質および記事
第四紀更新世 新第三紀 白垩紀 白垩紀 白垩紀	埋土	F	粘土を主体に、石灰岩・アスファルト等が多く混入する。含水量は中～高位を示す。N値=4～27。
	礫混じり粘土	CH-G	粘土を主体に、石灰岩がわずかに混入する。含水量は中位、塑性は高位。N値=7～13。
	未固結部	RLs-g	砂礫状の石灰岩を主体に、シルト分をやや多く含有する。N値=1～50以上。
	固結部	RLs	短棒状～棒状を主体とする。最大コア長Lmax=70cm、N値は50以上を示す。
	砂岩	Ts	砂質シルトを混する。風化色を帯びるが堅固な状態を示す。N値は17～50以上。
新第三紀 白垩紀 白垩紀	泥岩	Tc	半固結状態を示す。含水量は低位を示す。コアは強い圧縮により変形。N値は15～49。

業務名	南城市先導的都市拠点地域まちづくり事業調査業務(つきしろIC周辺地区)		
図面名	推定地質断面図 [Aライン]		
年月日	平成31年2月		
尺度	H=1:1,000 V=1:100	図面番号	1 業之内 4
会社名	株式会社オオバ 沖縄支店		
事務所名			

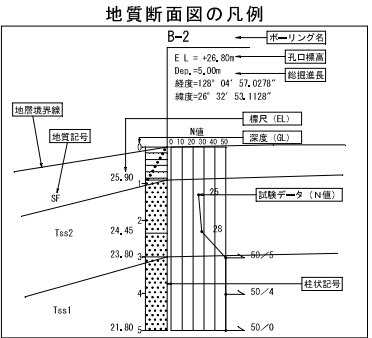
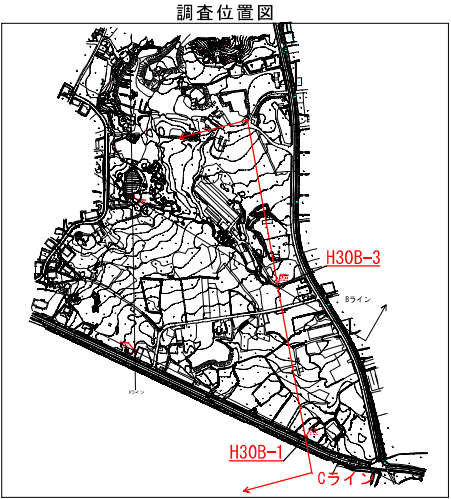
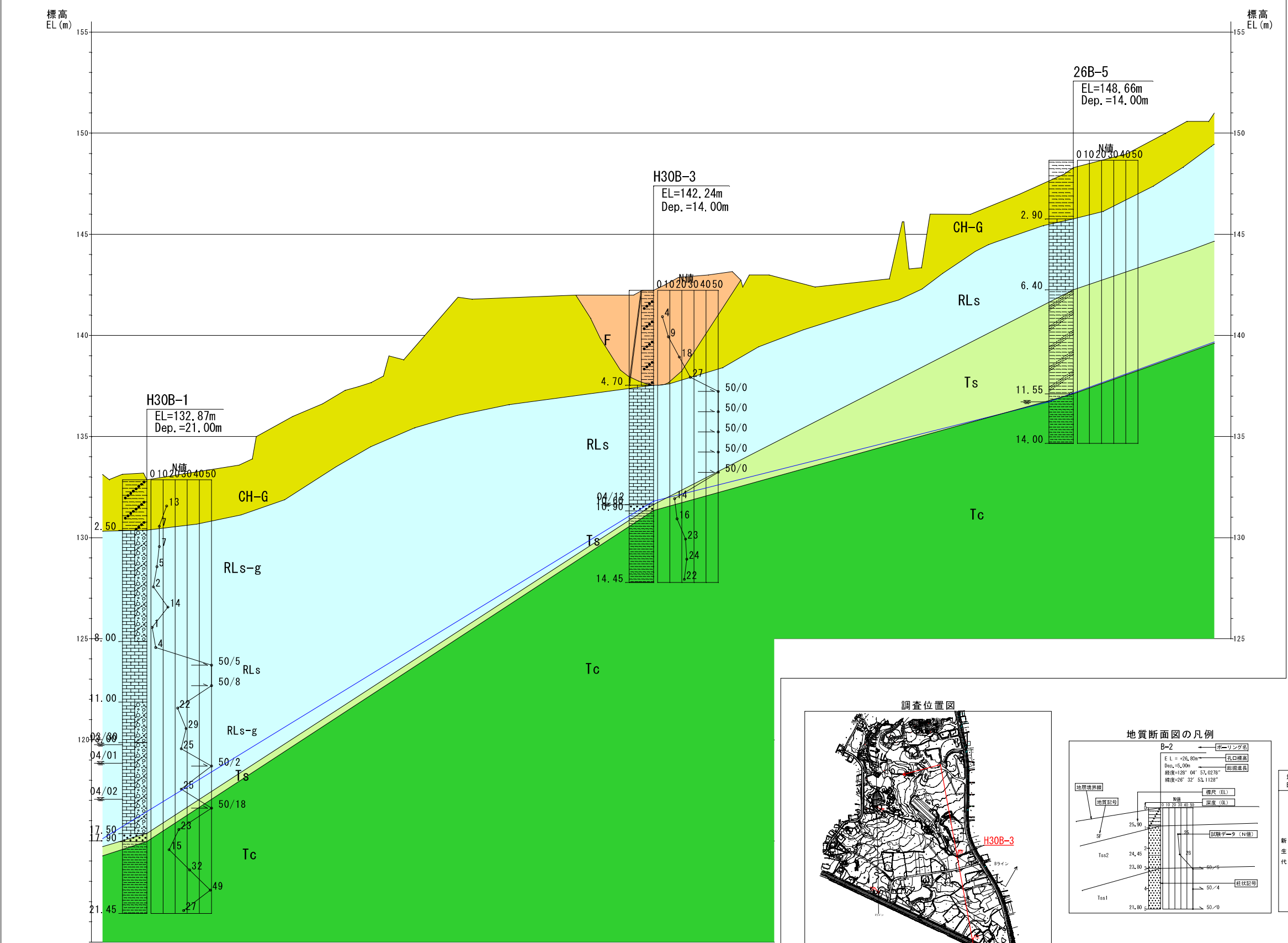
推定地質断面図 [Bライン]



地層区分凡例			
地質時代	地質名	記号	土質および記事
新 生 代	埋 土	F	粘土を主体に、石灰岩・アスファルト等が多く混入する。含水量は中～高値を示す。N値=4～27。
	礫混じり粘土	CH-G	粘土を主体に、石灰岩がわずかに混入する。含水量は中位、塑性は高値。N値=7～15。
	未固結部	RLs-g	砂礫状の石灰岩を主体に、シルト分をやや多く含む。N値=1～50以上。
	固結部	RLs	短棒状～棒状を主体とする。最大コア長(Lmax)=70cm。N値は50以上を示す。
	砂岩	Ts	砂質シルトを示す。風化色を帯びるが密な状態を示す。N値は17～50以上。
	泥岩	Tc	平坦状態を示す。含水量は低値を示す。コアは強い圧力により変形。N値は15～40。

業 務 名	南城市先導的都市拠点地域まちづくり事業調査業務 (つきしろIC周辺地区)		
図 面 名	推定地質断面図 [Bライン]		
年 月 日	平成31年2月		
尺 度	H=1:1,000 V=1:100	図面番号	2 業之内 4
会 社 名	株式会社オオバ 沖縄支店		
事務所名			

推定地質断面図 [Cライン]



地層区分凡例			
地質時代	地質名	記号	土質および記事
第四紀 更新世 新第四紀 新第三紀	埋土	F	粘土を主体に、石灰岩・アスファルト等が多く混入する。含水量は中～高位を示す。N値は1～2。
	礫混じり粘土	CH-G	粘土を主体に、石灰岩がわずかに混入する。含水量は中位、塑性は高値。N値は1～5。
	未固結部	RLs-g	砂礫状の石灰岩を主体に、シルト分をやや多く含む。N値は1～50以上。
	固結部	RLs	短棒状～棒状を主体とする。最大コア長max=70cm。N値は50以上を示す。
	砂岩	Ts	砂質シルトを呈する。風化色を帯びるが密な状態を示す。N値は17～50以上。
	泥岩	Tc	半固結状態を示す。含水量は低位を示す。コアは強い圧力により変形。N値は15～49。

業務名	南城市先導的都市拠点地域まちづくり事業調査業務(つきしろIC周辺地区)		
図面名	推定地質断面図 [Cライン]		
年月日	平成31年2月		
尺度	H=1:1,000 V=1:100	図面番号	3業之内 4
会社名	株式会社オオバ 沖縄支店		
事務所名			

Figure 10 is a cross-section diagram of a borehole (B-2) showing geological layers and test results. The diagram includes labels for 'ボーリング名' (Borehole Name), 'E.L. = +26.80m', '孔口標高' (Elevation at Hole Mouth), '距離 = 5.00m', '経度 = 128° 04' 57.0275'', '緯度 = 26° 32' 53.1128'', '地層境界線' (Geological Boundary Line), '地層記号' (Stratigraphic Symbol), '試験深度 (m)' (Test Depth (m)), '深度 (m)' (Depth (m)), '試験データ (N値)' (Test Data (N-value)), and '柱状記号' (Column Symbol). The diagram shows a vertical borehole with various soil layers and test results plotted against depth.

地質時代	地質名	記号	土質および記事
第四紀 更新世 新石器・旧石器	埋土	F	粘土を主体に、石炭灰質・アスファルト等を含む層。含水量は～5%を示す。N値4～7。
	礫混じり粘土	CH-G	粘土を主体に、石炭灰質がわずかに混入する。含水量は～5%を示す。N値1～13。
	珪状石灰質土	RLS-G	砂礫状の石灰岩を主体に、シルト・分や多く含有する。N値1～50以上。
	固結部	RLs	珪状砂・礫状を主体とする。 最大穴径(max)=10mm、 N値45以上を示す。
	砂岩	Ts	砂質シルトを主体とする。 白色を帯びるが硬い状態を示す。 N値は17～50以上。
第四紀 更新世 新石器・旧石器	泥岩	Tc	面状固結部を示す。 含水量低値を示す。コアは強い圧圧により層裂。N値は15～40。

卷-5

ボーリング柱状図

調査名

南城市先導的都市拠点地域まちづくり事業調査業務(つきしろIC周辺地区)

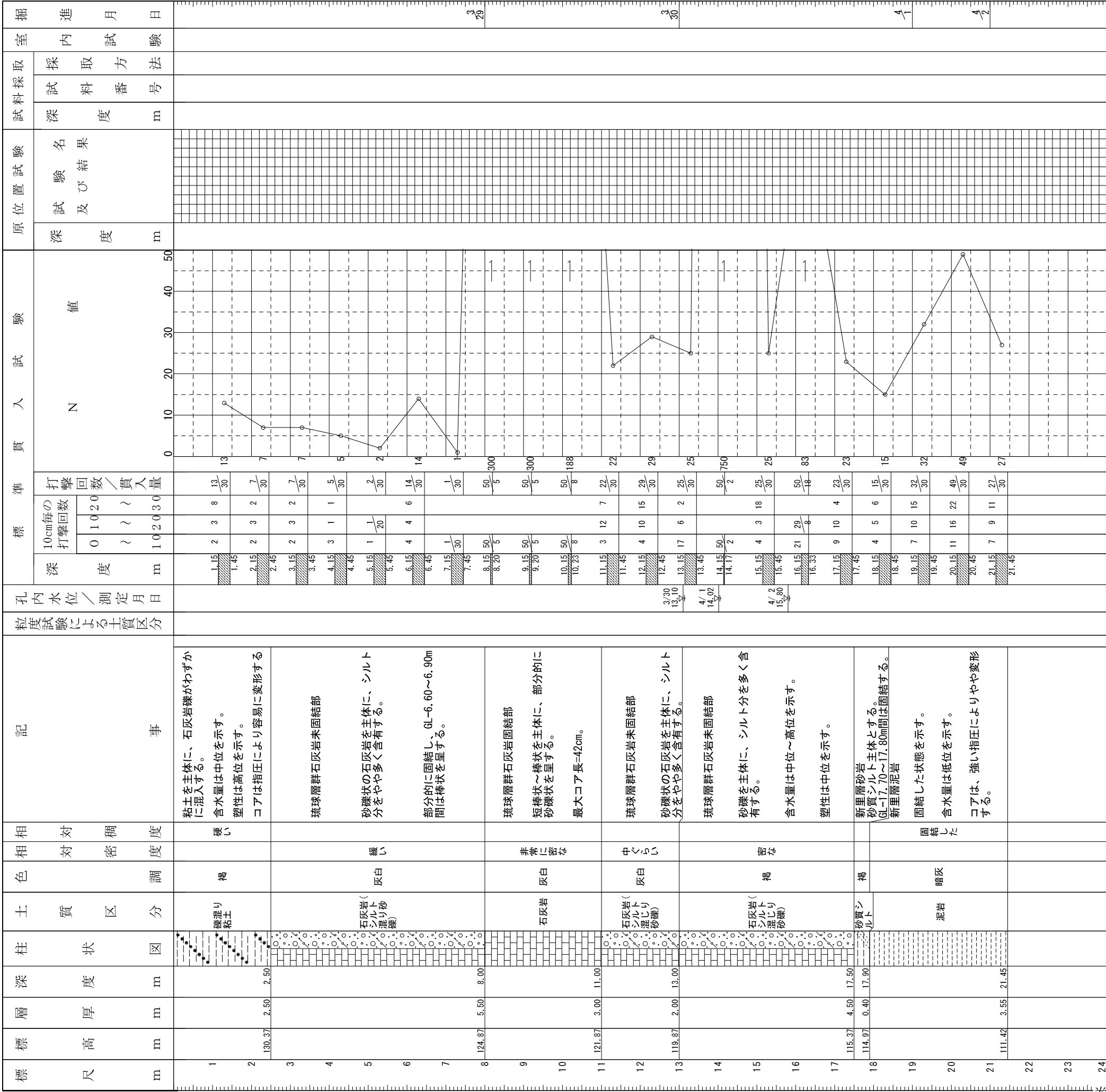
ボーリングNo.

39271683001

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名		H30B-1		調査位置		X=16950.729 Y=28836.339		北緯		26° 09′ 09.8150″	
発注機関		南城市役所		調査期間		平成31年 3月29日～平成31年 4月 2日		東経		127° 47′ 18.3349″	
調査業者名		株式会社 オオバ		主任技師		長井 慎吾		現代理人		松田 将	
電話		098-951-1717		方角		<div>北0° 270° 西 180° 東 90° 南</div>		使用機種		ボーン	
EL		132.87m		度		90°		試験機		YBM-05(ワイビーエム製)	
孔口標高		21.00m		向		0°		エンジン		NFD10 (ヤンマー製)	
総掘進長				度		0°		ポンプ		SX451	



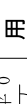
ボーリング柱状図

ボーリングNo.	3	9	2	7	1	6	8	2	0	0	2
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

No. 1-1

調査 名 南城市先導的都市拠点地域まちづくり事業調査業務(つきしろIC周辺地区)

名
事
工
・
業
事

ボーリング名	E30B-2		調査位置		X=17091.701 Y=28556.682		北緯		26° 09' 14.4162"							
発注機関	南城市役所		調査期間		平成31年 4月 3日～平成31年 4月 8日		東経		127° 47' 08.2763"							
調査業者名	株式会社 オオバ		主任技師		長井 慎吾		現代	場所	松田 将	コグ	鑑定者	ア	松田 将	ボーリング責任者	新垣 勝憲	
電 話	098-951-1717		方 向	角 度		北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地 盤 勾 配	鉛 直 90° 水平 0° 		使用機種	試錐機	YBM-05(ワイビーエム製)		ハンマ一 落下用具	半自動型
孔 口 標 高	EL 141.41m		方 向		180° 上 下 0°		方 向		180° 上 下 0°		方 向		180° 上 下 0°		方 向	
総掘進長	22.00m		方 向		180° 上 下 0°		方 向		180° 上 下 0°		方 向		180° 上 下 0°		方 向	

[illegible]

ボーリング柱状図

ボーリングNo.	3	9	2	7	1	6	8	3	0	0	3
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

シートNo.

調査名南城市先導的都市拠点地域まちづくり事業調査業務(つきしろIC周辺地区)

事業・工 事 名

ボーリング名	H30B-3	調査位置	X=17197.328 Y=28791.191	北緯	26° 09′ 17.8319″
発注機関	南城市役所	調査期間	平成31年 4月10日～平成31年 4月10日	東経	127° 47′ 16.7289″
調査業者名	株式会社 オオバ 電話 098-951-1717	主任技師	長井 慎吾	現代理人	松田 将
孔口標高	EL 142.24m	方角	北 0° 270° 西 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	14.00m	使用機種	エンジン	試験機	YBM-05(ワイビーエム製) 落下用具
				エンジン	NFD10 (ヤンマー製) ポンプ

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験採取		室内	掘進																					
												深度	試験名及び結果	試験料番号	採取方法		試験料番号	採取方法																							
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m																					
1					埋土 (埋れり粘土)	褐色	中位	硬い	粘性土を主体に、石灰岩礫、アスファルト礫等が多く混入する。 地表面よりGL-1.00m間は均一な粘土層。 含水量は中～高位を示す。 塑性は高位を示す。			4	3	1	20	4	30																								
2																																									
3																																									
4																																									
5	137.54	4.70	4.70						琉球層群石灰岩固結部			50±	50	貫入不能	0	50±	0				4	10																			
6									コアは片状～棒状で採取される。			50±	50	貫入不能	0	50±	0																								
7									最大コア長=60cm。			50±	50	貫入不能	0	50±	0																								
8					石灰岩	灰白	非常に密な		GL-8.30～10.60m間は砂礫状を主体とし、シルト分を多く含有する。			50±	50	貫入不能	0	50±	0																								
9												50±	50	貫入不能	0	50±	0																								
10											4/12 10.60	14	3	2	9	14	30					4	11																		
11	131.64	5.90	10.60		砂質シルト	褐色		非常に硬い	酸化色を帯び、砂質シルトを呈する。 新里層泥岩 半固結状態を示す。 含水量は低～中位を示す。 コアは、強い指圧により変形する			16	4	5	7	16	30																								
12																																									
13																																									
14	127.79	3.55	14.45																																						4
15																																									
16																																									
17																																									
18																																									
19																																									

ボーリング柱状図

ボーリングNo.		3	9	2	7	1	6	8	2	0	0	4
----------	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工 事 名

ボーリング名		H30B-4		調査位置		X=17344. 730 Y=28552. 634		北緯		26° 09' 22. 6391"					
発注機関		南城市役所		調査期間		平成31年 3月22日～平成31年 3月26日		東経		127° 47' 08. 1506"					
調査業者名		株式会社 オオバ		主任技師		長井 慎吾		現代理人		松田 将 宏		ボーリング責任者		新垣 勝憲	
調査電話		098-951-1717		角		180°		方		90°		地		使用	
EL		157. 44m		上		180°		方		90°		地		使用	
標高		157. 44m		下		180°		方		90°		地		使用	
掘進長		22. 00m		度		180°		方		90°		地		使用	
試錐機		YBM-05(ワイビーエム製)		ハンマ		落下用具		エンジン		NFD10 (ヤンマー製)		ポンプ		SX451	

